

【新規格付け】 福祉医療機構

第15回福祉医療機構債券： AA

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

厚生労働省所管の独立行政法人。社会福祉施設、医療施設を対象に国の福祉医療政策に沿った融資を実施している。2006年度に年金資金運用基金から住宅ローン債権約3.7兆円を全額資本金で引き継いで管理・回収業務を開始し、資産と自己資本が大きく膨らんだ。機構が実質的に貸し倒れリスクを負担することはない一方で、回収された元金等については翌年度に国庫に納付し、納付額のうち回収元金に相当する額を資本金から減額することになっており、機構の収支・財務に与える影響は中立的である。

なお、政府は、すべての独立行政法人を対象に「独立行政法人整理合理化計画」の策定を進めている。機構の福祉貸付については、介護関連施設向けの貸し付けが2004年度から民間金融機関に一部開放されたように、今後も民間金融機関への開放が進んでいく可能性がある。急速に高齢化が進むなか、機構の福祉医療貸付事業の政策的重要性は高く、制度的側面も含め事業基盤は強固であると判断しているが、整理合理化計画の内容次第では信用力に影響が生じる可能性があり、計画策定に向けた議論の行方を慎重に見守る考えである。

【格付け対象】

発行者：福祉医療機構

名称	第15回独立行政法人福祉医療機構債券
発行額	170億円
発行日	2007年12月5日
償還日	2010年12月20日
表面利率	0.96%
格付け	AA（新規）
受託会社	みずほコーポレート銀行
担保	一般担保付
備考	会社法の規定に基づく社債管理者ではなく、 独立行政法人福祉医療機構法に基づく受託会社が置かれる

☆発行体格付け： AA [格付けの方向性：安定的]

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務(債券やローンなど)の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることもある。